⑤ネット柵の点検・管理

ネット柵の見回り・点検作業

ネット柵の補修作業

⑥鳥獣被害対策を通じた集落の将来ビジョンの策定

ビジョン検討の様子

集落の将来について意見交換を行う場の増加

『集落住民共同で休耕地を活用した野菜づくりを行いたい。』

鳥獣被害対策と野菜づくり等の集落活動を核とした集落の将来ビジョンを策定

鳥獣被害に強い元気な集落づくりビジョン

作成年月日　３０年　２月２８日
更新　　年　　月　　日

歌糸集落ビジョン

【１】１年後の姿・３年後の姿・５年後の姿（現状から客観的に考慮する。①：鳥獣被害対策，②集落全般）

１年後	３年後	５年後
①・「自ら守れる」集落体制の充実 ・除草やメンテナンスなど防獣ネットの維持･管理活動の実施 ・追加対策のための補助事業等の活用 ・潜み場所の撤去 ②・すずめの学校での野菜作り及び鳥獣被害対策の取組	①・「自ら守れる」集落体制の充実 ・除草やメンテナンスなど防獣ネットの維持･管理活動の実施 ・潜み場所の撤去 ・新たな鳥獣被害対策（ワイヤーメッシュ柵等）に向けた検討、導入 ②・すずめの学校での野菜作りの取組拡大 ・直売所等へ出荷する農作物の栽培など、地域活性化を検討（展示ほなど） ・多地域との交流会	①・自主的な対策活動の継続、新たなリーダー育成 ・新たな鳥獣被害対策（ワイヤーメッシュ柵等）に向けた検討、導入 ②・すずめの学校での野菜作りの取組の継続 ・地域特産品の開発と販売 ・多地域との交流

【２】【１】から、これから集落が取り組むべき課題（目標）を整理する

①・リーダーの育成、選定
・定期的な検討会の開催（鳥獣被害対策＋営農対策）
・住民全体の役割分担による定期的な防獣ネット維持･管理活動の実施
・市の総合支所や振興局、普及センターとの連携（補助事業活用・勉強会の開催など）
②・関係機関（市、普及センター等）と連携した勉強会の開催

目標からスローガン（標語）を作成

地区全体で鳥獣被害に対する意識を高めよう

【３】一年間の主な取組スケジュール（鳥獣被害対策と集落全般）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
１年間の計画	鳥獣被害対策 地区定例役員会 ※毎月第１土曜日	防獣補修ネット補修 ※中山間直払い		早期水稲田植え※４月初め 除草作業(大田・蓬原) ※中山間直払い		普通期水稲田植え ※６月中旬	防獣ネットの見回り	早期水稲稲刈り ※８月下旬	林道除草 ※一般立ち会いのもと 防獣ネットの見回り	普通期水稲稲刈り ※10月上旬～	11/1 ～ 3/15 シシ･シカ狩り（猟期）	
	集落全般 尾高知神社祭 ※１月中旬 １月総会 地区定例役員会※毎月１回			公民館総会 ※月末 金比良祭（黒沢･竹の脇） 除草作業(赤木･大田)		虫供養	河川清掃(集落全体) ※学校行事。公民館単位で実施		道路美化運動（草刈り･街ひろい） 霧島祭（竹ノ脇）		秋祭り(集落全体)※11月最初の土日 すがわら神社大歳神社 火の神楽(黒	

※管内８集落における独自の祭
金比良山や霧島神宮、宇納間地蔵尊などを祀るため、集落毎に祠を建て年１回祭を行っている。昔は８集落全てで、それぞれ祭が行われていたが、現在は世帯数の減少により行われていない地域もある。

【４】取組（５年間・３年間）で出来たこと（①集落全般と②鳥獣被害）

１年目 →	２年目 →	３年目 →	４年目 →	５年目
①鳥獣被害対策について ・集落点検及び被害状況調査 ・展示ほ(藪払いとネット設置、すずめの学校) ・鳥獣害対策研修会 ②集落及び農業の活性化について ・すずめの学校での野菜作り	①鳥獣被害対策について ・集落点検 ・河川清掃等を利用した除草や藪払い ・除草対策の検討（かずら等） ②集落及び農業の活性化について ・すずめの学校での野菜作り	①鳥獣被害対策について ・集落点検 ・河川清掃等を利用した除草や藪払い ・リーダー育成 ・鳥獣害対策研修会 ②集落及び農業の活性化について ・直売所等へ出荷する農作物の栽培の検討 ・多地域との交流会	①鳥獣被害対策について ・集落・環境点検 ・新たな鳥獣被害対策（ワイヤーメッシュ柵等）の導入検討 ・リーダー育成 ②集落及び農業の活性化について ・直売所等へ出荷する農作物の栽培の検討 ・多地域との交流会	①鳥獣被害対策について ・集落・環境点検 ・新たな鳥獣被害対策（ワイヤーメッシュ柵等）の導入検討 ・リーダー育成 ②集落及び農業の活性化について ・すずめの学校での野菜作りの取組の継続 ・地域特産品の開発と販売

⑦「すずめの学校」の設置
～技術研鑽や生産物直売による地域貢献～

鳥獣被害防止技術や野菜の栽培技術を学ぶために展示ほ場「すずめの学校」を設置

ネット柵設置の様子

野菜の栽培講習会

野菜作りと鳥獣被害対策の勉強の場として機能

「柵」とともに
「策」も成長♪

「電落くん」設置の様子

すずめの学校の全景

活動の成果　①

- ネットのや電気さくの見回り点検などの活動を、集落全体へ活動を波及できた。
- 集落内のネット柵や電気柵などの維持管理が適切に行われるようになり、水稲被害面積が大幅に減少した。

＜水稲被害面積の推移＞

	H26年度	H30年度
鳥獣被害面積　(a)	234.9	49.3
被害面積H26対比　(%)	100.0	21.0
被　害　率　(%)	12.6	4.9
(参考)北浦町被害面積　(a)	297.3	149.6

データ：延岡市・NOSAI宮崎北部センターより

- 鳥獣害対策が集落活動の一部として定着

公民館に掲示してある鳥獣害対策の取組のあゆみ

活動の成果　②

- 直売所「すずめのお宿」は、集落内には野菜を販売する店舗がなかったこともあり、地元住民にも大変重宝されている。
- 野菜の売上げの一部を活動費に充てることで、活動の展開を図るとともに会員のモチベーションの維持にも繋がっている。

野菜づくりの様子

すずめのお宿(直売所)

今後の方向

- 「すずめの学校」での野菜周年栽培をはじめ、歌糸集落の女性農業者を中心として鳥獣被害対策を自主的に継続
- 黒にんにくの製造・販売や農家レストランなど6次産業化に向けた新たな取組を検討